

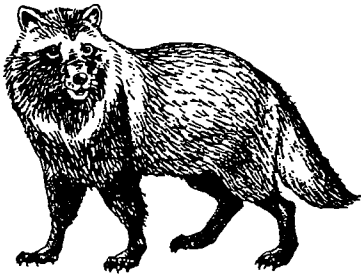
ふかまの自然への想い

第八十号 二〇〇一年二月日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 番六三―三三七

ふかまの自然への想い(4)

小林龍一郎

「厳寒の里山―たぬき―狸」
松尾峠の手前、左手に農産物直売所がまだできていない。夕方、左前方に猫らしいものを発見。車の後ろの方でことんと音がした。車を止めてみると、車体に変化はない。引き返してみると、タヌキが動かない。かみつかれては大変なので、足でしっぽの方をこちょこちょと触ってみる。全く動かない。血も出ていないので、失神と思ひ、草むらに移動。一瞬タヌキ汁という言葉をかすめる。次の日、朝七時、逃げていた。だるうと立寄ってみると硬直していた。黒いビニール袋に入れて、調理室の冷蔵庫に入れる。意外に大きく入らない。その日の夕方、町内の人に剥製にすることで相談をしたところ、すぐでないと到底それは難しく、肉にも臭みがきているといわれ、解体はできないこととなる。化けて人をだましたり、また、腹鼓を打つといわれるが、足が



とても短くかわい。昔から人間とのつきあいが深い動物である。だからけものへんに里と漢字で表わすのか。人里近く山中で穴居生活をするが自分で穴を掘るのには面倒らしく、誰かがつくった穴に入ったことがある。多いらしい。夜行性で、雑食性ミミズ、ムカデ、そして蛙、カニ、魚などの動物から、ドングリなどの木の果実まで食べる。えさの種類が多いせいかな、性格的には、あくせくせざるのんびりさ。初夏に子ども四、五匹産む。飼うとよくなれて可愛い。木登り上手で、追われると木の梢に逃げることが多い。柿の木には狸の爪痕が残っている。柿の実を樹上で食べるらしい。真偽のほどを柿づくりの

た。途中は予め海図に書き入れられたコースを毎日天測し乍ら走り、天測は正午の時間で航海士の日課となつて居り、その位置はブリッジの裏側の掲示板表示します。天測の際標準時計が一秒狂っていると、位置の測定が二、三哩誤差がでるとの事でした。台湾の沖近くになると、一日と気温が上がると、船内の服装も冬服から夏服へと衣替えしなくてはなりません。無線部は毎日の正午の位置と気象の状況を、長崎無線局を通じて本社に通知すると同時に、中央気象台の天気予報の受信・中央電信局のニュースの受信・無線局からの本船宛の電報の有無の確認等が仕事です。東支那海はトロール漁業が盛んな海域なので、二隻の漁船が平行して走り、網を引っ張っているのによく出会います。その中に台湾の北端が右側に目えてきます。台湾を右舷に見乍ら約一日南下すると島影は姿を消して終ります。次は、パシフィック海峡を通過し広い南支那海を南下します。今度はフィリピン群島の島影が左舷の方向に見えて来ます。赤道が近くなつて来ると海は実に静かで、船が走っていると海は実う感覚がなくなり、時にはデッキに出てみる程でした。

オーストラリア航路の思い出(1)

秋本 俊之

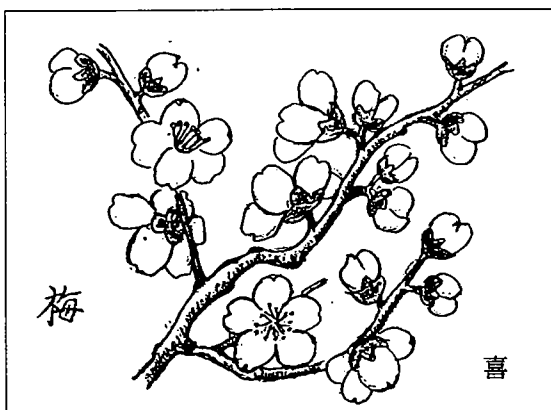
近東イタリヤ航路の最終港の北海道の室蘭港での荷揚げ作業を終了して、母港横浜に帰ったのが昭和十五年の五月頃でした。こゝで約二十日位のドック修理を終え、今度はインドネシア經由オーストラリア航路に就航することにになりました。積荷は輸出品の雑貨類で、寄港地は名古屋・大阪・神戸・門司を經由して九州の崎戸に立寄り、こゝで燃料の石炭を約六〇〇T位積込みます。石炭を山積みされた岸壁に接岸した本船の炭庫に、約五・六mの歩み板を渡し、その上を竹ざるに入れた石炭を二〇歳前後の娘さんばかりが行列を作って、びんぴんはねる板の上を上手にかついで渡る姿は、まるで軽業師の曲芸の様で驚きました。我々は彼女たちを『石炭ガール』と呼んで居りました。炭庫の上まで来ると、竹ざるをひっくり返して一尺位の竹棒を一本宛落として行き、最後に棒の数で積込んだ石炭の量を計算します。赤道直下のインドネシアは、綿製品や煙草等が少ないので、現地人に重宝されるとのことです。それらを買ひ込んで出発しまし

名人に聞いてみたい。犬や狐ほど偉くはない。鉄砲の音などでびくくりすると、失神して仮死状態になることがあることから、タヌキ寝入りといわれる。これはヒトがよいからで、だまそうとしないような高等な考えは持っていないようだ。県道でよく車の犠牲となつて居るが、狐やイタチがそうなることは珍しい。林に近い家では、タヌキがよく訪れて話題となる。餌づけをして呼び寄せる人も居る。人間の残飯もよく食べる。タヌキの行動は、夕暮れ頃にはじまる。雄と雌の二匹か、家族で動きまわることが多い。夏から秋にかけては子だぬきの姿も見られる。昼間の観察は足跡と糞さがし、たぬきの習性があるのを探しやすめ。ため糞は一種の共同トイレで、家族や仲間と同じ場所を使って居るようである。毛の色は様々から汚れた姿を想像するが、まことにきれいな動物である。この毛皮の提供源でもあることから証明済みである。朝会で黒のビニール袋を大黒様みたいに担いでゆき、キラキラと目を輝かす子どもたちに凍った実物タヌキを紹介する。自然に活動する動物と昼に活動する人間の棲み分けを話した。▲次回は「モズクガニ」▲

密告はいや・がしかし

編筆子

密告は陰湿で嫌である。根本的にはひとの信頼感が崩れることにあり、疑いは疑いを生む結果となる。戦前・戦中の暗いあの時代を経験した人は少なくなくなった。敗戦間際の物不足時代にも「物」を巡る密告があった。



梅

喜

フィリピン群島より更に南下すると、小さな島が散在し、小さい島には山がなく、水の面に平らな板を浮かべた様な平坦な島に、水際よりヤシ等の熱帯植物が生い茂っているようである。▲南洋独特の風景です。▲

町内各種団体二月行事予定

- ◆小学校・幼稚園
- ◆子ども美展(幼共)――二・六
- ◆ピヨピヨハウス(幼)――七
- ◆冬期学園(五・六年)――八・九
- ◆参観日(幼共)――一〇
- ◆新入園児(二児園)――二〇
- ◆入学説明会(体験入学(幼共))――二〇
- ◆誕生会(幼)――二八

- ◆女性会
- ◆親睦会 上二〇日・中二二日・下二二日

- ◆尚寿会
- ◆椎茸種植え指導(小笠原) 習習委

最近の日本社会でもこの制度は活用されている。自動車メーカーによるリコール隠しは運輸省への一本の電話が発端だった。太陽光発電装置の不正表示も一般消費者には寝耳に水。警察内部で起きた交通違反等のもみ消し事件は、部外者には手の届かない身内の犯罪。内部の限られた者しか知り得ないこの種事件は、私なりの結論を言えば、「組織の頹廢」が主因。頹廢とは、良いことと、悪いことの区別ができないこと。最近のKSDや外交機密費を巡る事件も、組織の頹廢以外の何でもない。組織を構成する人の「質」が問われている。▲

「成人式で市長キレる」 香川県善通寺市と、埼玉県深谷市の成人式の様子を書いた一月八日

日経新聞の見出し。善通寺市では来賓として出席された市長が、会場内で五・六人の男性が一升瓶とコップを持ち込んで騒いでいるのをみて、祝辞を取り止め退席を命じた。深谷市長は祝辞を述べたため壇上に立ったが、新成人が会場を走り回ったり、携帯電話で話すなどの騒ぎに、式辞を中止。三〇分の静寂が守れないのかと、退場(還常)を命じた。異常な少年犯罪と合わせて考えるべきではないかも知れないが、根っ子のところは同じような気がする。▼自由は全てに優先するものか。想だるうか。成人式そのものが本人にとつて無用の長物であるならば、廃止を含め見直しも必要だろう。が、セレモニイや伝統を否定する現象を無条件に受け入れてよいものか。夫婦・親子・地域互助も見直しの気風が生まれたら、その兆候はチラリ。▼この現象を学校教育と同心円で考えるのは誤りだろうか。世羅高校長が「日の丸・君が代」で自殺したのは九九年二月二八日。同年三月、三原市教委から「日の丸掲揚・君が代斉唱」の職務命令が出た。「職務命令拒否」であれば、その理由を一般に公表されたい。いとも簡単に職務命令が拒める組織も珍しい。職務命令に不満であれば自立の道があり、自分の力も試せる。

深町歴史散策

(4)

高崎 壽郎



曹洞宗 金剛寺

金剛寺は天正十年(一五八二)に、小早川隆景が三原城入城にさいし、北の鬼門除祈禱所として建立されたもので、四百年余の歴史を有する。

時は安土桃山時代で、織田信長の天下統一を阻んだ有名な本能寺の変があった年。

寺の創建当時は真言宗であったが、万治三年(一六六〇)道元を開祖とする曹洞宗(永平寺派)に改宗された禅寺である。

山号は般若山。

本尊は、浅野公帰依仏の聖観世音菩薩。

本堂脇に鎮座する三仏像は以前上組阿弥陀平の阿弥陀堂にあったもので、平安時代中期の作

といわれる。これら客仏三体の来仰阿弥陀如来座像は重文級の仏像といわれ見ごたえがある。

金剛寺の境内から眺望すると、南に遠く猿掛山(備後富士)三階山が連なり、石原氏の居城だった医王山(海拔一九〇m)と同じ高さ位置しているのが実感できる。

東の方角には、上組の子ども達が幼い日遊んだ城山(綱掛城跡)が見え、眼下には長閑な田園風景がひろがる。

最近の発見であるが、注意してみると、玄関や役もの瓦に毛利家の家紋百万一心の記を使っている。これからも、この寺が毛利家に庇護されていたことがわかる。

境内には、鶴が羽根をひろげたような姿の何百年も樹齢を重ねた老松がある。このお寺には、文政七年(一八二四)に描かれ

ふるさと賛歌

石井良雄

(3)川は子どもの樂園だ
泳いでみたり もぐったり
水をかけたたり 鬼ごっこ
水にあきたら 魚とり
どじょう 砂はみ

目高やえびをすくったり
石をはぐれば 蟹がいる

(4)大きい鯉をみつけたら
うまく浅瀬に 追い込んで
おさえた はねた逃げられた
子どもの手には おえないよ
鰻やうども いるけれど
面白いのは どんこ釣り
何度落ちても 又かかると
(傍線は川魚の名)

次号へ続く

「グループホーム」

坪見 博文

以前テレビで、女性ばかり数人でいきいきと楽しく生活されているのを観た。

大きな家に住んでいられた人が一人暮らしになられ、共同生活を希望される人を集められたようだ。私はそんな生活が理想の生き方と思う。

私は山が好きで山の中に住み、山が好きで共同生活の好きな人が集い、自由にそれぞれの目的をもって生きる。互いに不足するところを助け合い、他人のよるこびを見て自分も幸せになれる。そうならば、お金はなくても幸せは得られると思う。

先日ラジオが、個人のグループホームにも「公的資金を四分の三援助する」といっていた。



私はお金をかけず再利用できるものは全て使用し、維持費負担を最小限に絞る。

お金を困ると夫婦喧嘩もよくする。少ないお金で最大の幸せを得る。夢のような話だが、やりがいがある。これからの熟年者は、かって貧乏生活を経験しているの理解は得られると思

炭を焼き、椎茸・山芋・野菜もも植え、柿・梨・栗等時間はか、っても少しづつ実らせ、感謝の気持ちで生きる。今、行政ではお年寄りが安心して暮らせるようにと建物をつくり、お世話を人育てているが、私はその世話になる人が全て幸せとは思

はない。コンピュータで人の

た金剛寺付近の絵がある。それには、見事な松と四ツ堂の虚空堂が眼に入る。市内の老松が、一本又一本と枯死している現在、誠に貴重な存在であり、いつまでも健在であってほしい。

先の第二次世界大戦(太平洋戦争)末期には、鉄砲や大砲の砲弾をつくる時、どの家庭からも鉄類を供出した。

お寺とて例外ではなく、時を告げていた梵鐘も供出した。今、その掃りを待つ鐘楼が寂しくたっている。嗚呼。

尚、深の最初の小学校番屋舎は、明治六年(一八七三)に金剛寺内にできたが、そのことは次号で。

太郎谷峠は今

旧太郎谷峠県道にゴミが捨てられ、困っていると駐在所の方

は嘆いていられる。

清掃業者が依頼して処理されるそうだが、一回に十台分にもなる大変な量です。これを年

世話の程度を決めるなど、人の心が機械に理解出来るはずがない。人の心は人でないと分からないと思う。

人が求めているものを提供する。昭和四二年頃社員教育で聞いた話では、「親切とは自分が求めていることを、他人にすること」だ、とのことであった。そのよう

なことが、今失われている気がする。

私は、両親と弟を看病したことがある。患者が元気な時は他人の方が上手に世話が出来た。患者の意識がなくなると時はやはり身内の者が何でも出来る。医師がもう手当のしようがないといった時、身内の者が手当が出来ると聞いた。患者に手を当てるだけで喜ぶものだと。そんな人生の旅を終えるまで、最後の最後まで楽しく生きる。そして、にっこり笑ってサヨナラする。

子どもの遊ぶ声がない

高崎 壽郎

近代日本地図の作製者伊能忠敬の足跡をたどり、二年間歩いて全国を一周する「伊能ウオーク」に参加された方の感想に、「いまの農村は全たく静かで、子どもたちの遊ぶ声が聞かれない」というのがあった。

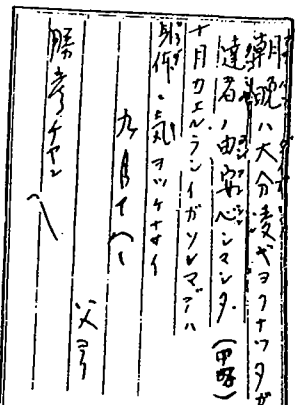
元気のよい子ども達の遊ぶ声が聞こえないのは寂しいことである。その原因を只少子化だからと考えるのでしょうか。



ボクの集団疎開の思い出

(元)大阪市立海老江東国民学校
2ねん ニシダカツヒコ

終戦のころ(2)



家の古い文箱から父が幼い私に宛てた左(一部抜粋)の昭和20年9月18日の手紙が出て来た。中略部分は、大阪が台風に被災した事に伴って、その他持ち物と身の廻りの整理、荷物と他の物と関係の物に注意してまとめたもの。



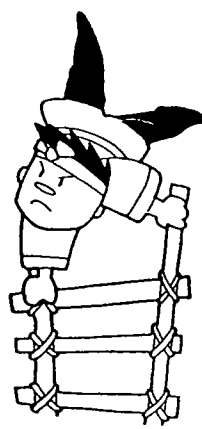
出発の前日迄に、全ての荷物、布団までしりぞきに入れて送り出し、村人の自宅に分宿させて頂きました。2年生は数人の8人、中には寝小便癖のある子もいました。4年生のお姉さん方に洗って貰っていました。A君は、この最後の日村人の自宅でもシラジツをやる。

寒鰯(シラジツ)の切り身の旨し日本海

表紙

深町小の思い出

新春ふれあい広場ではお世話になりました。二〇日(土)、雪の舞う厳しい寒さの中、とんどの組み立てをしていただきました。指先も凍る冷たい風の中、



とはなく、「ぎねが重くてふらふらしたよ。」「おもちは、あたたかくてやわらかくて気持ちよかったですよ。」とうれしそうでした。

深小学校の校舎ぐらいの立派なとんどが出来上がりました。二一日(日)は、餅つき、とんど焼きと子どもたちには楽しい行事でした。子どもたちの中には、家で餅をつくこと

地域の方と新春を祝う行事に参加することができ、深町にまたひとつ触れることができました。

また、勢いよく燃え、どやどや大きな音にびっくりしていました。